

テーマ：『 身の回りの事象を科学の目と手で追究できる子どもの育成 』

福岡県福岡市立 笹丘小学校

Tel. 092-731-0756

担当者： 赤木 達郎



自分で確かめ納得いくまで追究する子ども達



サイエンス・フェスタ（高校教員を招いての授業）

■実践内容：

1 テーマ研究を通しての理科授業の工夫改善

子ども達が主体的に「科学の目と手」を用いて問題解決活動を行うことができるよう、実験器具を可能な限り多く準備した。単元の前半の段階でこれから明らかにすべき学習問題を明確にするための話し合い活動で発問や助言を工夫し、後半の問題解決の過程では一人一人が納得するまで追究できるように活動の場を工夫して学習を進めた。

2 第5回サイエンス・フェスタの開催(平成21年11月4日)

日頃の小学校理科授業では体験することのできない実験・観察を通して、科学に触れる喜びを感じ、理科が好きな子どもを育てることを目的としてサイエンス・フェスタを実施した。この取り組みには講師として近隣の高校教員5名、地域在住の専門家3名も講師として参加していただいた。

■実践成果：

1 理科好きな子どもの育成

自分ももった疑問を明らかにするために、粘り強く追究活動を進める子どもが多くなり、話し合い活動では友達の考えを大切にしながら、話し合いを進める姿が見られるようになった。基礎基本を獲得するする場においては、教材・教具の工夫により、「科学の目」が意欲的に使われ、モデル等の提示や話し合い活動によって理解を深めることができた。また、身の回りの事象の追究では、「科学の目と手」をしっかり身に付け活用することで、問題解決できその有用感を味わうことができた。さらには、普段そのまま通り過ぎていた身近な事象にも興味・関心をもち、それを追究しようとする姿や獲得した科学を使って見直したり説明したりしようとする姿がみられ、子どもの自然事象への見つめる目を広げ認識を深くするとともに、自然事象に対しての親近感や共存意識を高めることができた。

2 開かれた学校づくり

サイエンス・フェスタに協力していただく地域の方が本校の教育方針を理解し、熱心に実験・観察の指導をしてくださった。理科教育の振興を目指している本校の取り組みについて理解の輪を広げることができた。また、地域の人材を生かして、小学校理科では経験できない珍しい実験や感動を伴う体験活動を実施することができ、子ども達は科学に触れる喜び味わうことができた。

■実践ポイント：

理科嫌いの問題が指摘される中、本校では様々な取り組みを通して、理科好きな子どもが育ち、理科の学習指導に秀でた教師が育っている。今後とも理科教育の振興を図るために努力を続けていきたい。